

平成28年度

瑞穂野地域学校園の取組

《瑞穂野中学校 瑞穂野北小学校 瑞穂野南小学校 瑞穂台小学校》



学校園ビジョンを見直し、改訂しました

新ビジョン

9年間の連続した学びの中で、生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育

新ビジョンに沿って、各分科会の活動内容を整理しました。以下は具体的な活動実績です。

ア 確かな学力を育むために

・「瑞穂野漢字ミニマム」(瑞穂野漢字習得基準表)を活用し、9カ年間に繰り返し指導することで、基礎学力の確実な定着を図ります。

①旧ミニマムの大改訂と新中1ミニマム作成

・「(正しく)読む・書く・話す・聞く」といった基礎的な言語能力の育成を、9カ年間の各校・教科年間指導計画に位置づけて、継続的・系統的に図ります。

②全校の教科年計上に (み)マークで位置づけました。

・学習内容定着度調査やとちぎっ子調査などの結果を一緒に分析することで、学校園全体の学力の特徴や問題点を把握し、ともに取り組みます。

③11月分科会でとちぎっ子調査を分析し、ビジョン改定に向けて提言しました。

《学習力分科会》

イ 健やかな体を育むために

・基礎体力向上のために、児童・生徒の実態を分析し、それぞれの発達段階に応じて準備運動・補助運動の仕方を共有するなど、継続的・系統的に働きかけます。

①準備運動の共通化、水泳検定表の改善

《体育分科会》

・学校園内で行う健康・保健指導の仕方等を統一し、可能な限り衛生面や感染症予防の指導を共通化します。

《保健分科会》

②指導内容の統一、感染症の予防指導の共通化

・学校園食育だよりの発行、「みずほの献立」の実施やお弁当の日の同一日実施など、学校園で統一した食育指導をすすめます。

③みずほの献立の実施。食育だより発行。

一口メモの作成。お弁当の日の統一。

《食育分科会》

ウ 豊かな人間性・社会性を育むために

・道徳の教科化を見据え、小中で連携して行う授業づくりを進めます。また、「小中9年間を通した心の教育一覧表」を作成し、それぞれ自校化しながら実践を重ねます。

《心の教育分科会》

①地区の重点項目を協議、【強い意思】で統一。心の教育一覧表の作成と 小中同一教材の授業づくり

・9年間を通した読書指導や学校園図書だより「穂のぼの」の発行、「家読」の推進などで、豊かな人間性・社会性の育成を図ります。

《図書館教育分科会》

②読書だより・読書傾向表の交流、「穂のぼの」の発行、「家読」の推進など。

・冒険活動での共同活動や乗り入れ授業、「瑞穂野あいさつ運動」を通して、『地域で学ぶ子供たち』の集団性を高めます。また、リーダー経験を通して上級学年となる児童・生徒の主体性を高めます。

《生徒連携交流分科会》

③「瑞穂野」あいさつ運動の実施

・「瑞穂野あいさつ運動」や「ホタルの飼育」での地域住民との交流を通して、瑞穂野地域の特徴について理解を深め、地域愛を育てます。

《地域連携交流分科会》

④ 乗り入れ授業の実施、冒険教育活動での交流、ホタル4校放流会 ホタルの夕べの実施

・学校園内の情報交換を密接に行い、発達段階に即した児童生徒の健全育成(特にいじめ防止と規範意識の涵養)と特別な支援が必要な児童・生徒への効率的なサポートを図ります。

《児童生徒指導・教育相談分科会》 《特別支援分科会》

⑤学校園児童生徒指導強化連絡会および不登校対策連絡会の実施、研修会・中学校訪問の実施 等

・学校事務業務の一貫化・共通化・INB化など。

《事務分科会》

⑥諸帳簿点検・誤審会の実施。集金方法の統一。小中一貫型の就学援助申請方式の導入、等。



H28 「みずほの献立」



ホタル放流会



瑞穂野あいさつ運動